

まちかどトーク（五位山地区）議事要旨

日時：令和 8 年 4 月 13 日（月）18:30～20:15

場所：五位山交流館

参加者：37 人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「災害に備えよう！～わがまちのリスクの理解・日頃の備え～」について危機管理課から説明の後、質疑応答

参加者

寝たきりの家族がいるので、実際避難となると難しい。結局、家族 2 人でどう連れ出すかという話になる。説明は分かるが、実際はなかなか行動に移せない。

危機管理課

その点については、すぐに公助が行き届かないケースもあるので、持ち帰って検討させてほしい。今すぐの答えは難しいが、考えさせていただく。

参加者

災害情報について、五位山と伏木では状況が違うのに、伏木の情報で判断されているように感じる。雨が止んでいるのに避難勧告が出ることもあり、違和感があった。

危機管理課

避難指示は、降雨量や地面への浸透量、過去 24 時間の雨量などをもとに判断している。雨が止んでも地盤が緩んでいけば危険は続くため。气象台と連携し、細かいデータをもとに単位自治会の単位で判断しており、特定の地点だけの情報で判断しているわけではない。

市長

私も市長になってすぐに判断を下さないといけなかった経験がある。丁寧に対応していきたい。

参加者

地区の防災計画を作ろうとしたが、五位山地区には防災士もおらず、専門的なアドバイスが受けられない。さらに、五位山は集落が点在していて、避難場所も違うため、地区全体での計画作成が非常に難しいと感じた。市として支援はあるか。

危機管理課

おっしゃる通り、五位山地区は町内ごとに状況が異なる。市としては連合自治会単位での計画を基本としているが、この地域では町内単位が現実的だと思う。出前講座などで職員や防災アドバイザーが訪問し、一緒に計画づくりや訓練を進めることが可能。費用負担なく支援できるので、ぜひ相談してほしい。

参加者

AED の設置について、この地域にはほとんどなく、救急車が来るまでの対応が不安。山

間部でリスクも高いので、設置や補助を検討してほしい。

参加者

五位山交流館や消防団車両に設置がある。

市長

すぐには答えられないが、検討させてほしい。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

地域おこし協力隊の方が以前来ていた。地区を回って賑やかにしてくれていたが、最近いなくなり、静かになってしまった。

市長

福岡全体ではもう1人、活動している若い方がいるが、また地域に関わってもらえるよう考える。

参加者

雪の問題だが、この地域、特に沢川は積雪が多く、高齢者だけの世帯では屋根の雪下ろしができない。業者に依頼する際の補助制度はあると聞いたが、非課税世帯限定で1万円では足りない。もう少し支援を拡充できないか。

市長

地域によって積雪量が違う点は確かに課題。シルバー人材センターの活用もあるが、条件もあるので検討が必要。

川島県議

サンダーバズ球団と高岡市は連携協定を結んでおり、球団選手が除雪支援に来てくれる仕組みがある。ぜひ活用してほしい。また、市からも支援を行っていただければ、共助の仕組みが醸成されるのでは。

市長

それはぜひ周知していきたい。

参加者

人口減少についてだが、子どもが減っている原因は結婚する人が減っていることではないか。婚活支援はどうなっているか。

市長

高岡市、氷見市、小矢部市で構成している高岡地区広域圏事務組合で婚活支援は行っているが、それだけでは不十分と感じている。今年度から県外より夫婦で移住された新婚世帯への家賃補助なども始めた。また県の方でも大規模な婚活イベントを実施する予定としている。

参加者

昔はほとんどの人が結婚しているが、今はそうではない。それが人口減少の大きな要因だと思う。

市長

その通り。価値観の変化もあるが、支援できる部分はしっかり取り組む。

参加者

3点、市長の感想を伺いたい。

1つ目は県道整備。自治会費から日当を出して住民が県道の雑木の整備をしている。どう思われるか。

2つ目は災害復興のスピード。人口の多いところが優先されるのは分かるが、阪神淡路は2年で復興したのに、能登は遅れているように感じる。

3つ目はクマ対策。この地域でクマ駆除を行うことで、高岡北側からの被害を防いでいるという自負がある。GPSなどの対策はできないか。

市長

県道整備だが、正直驚いた。重要な作業だが、皆さんにご苦勞をおかけしていることについて申し訳なく感じている。

災害復興のスピードだが、私も理不尽さを感じる。神戸の復旧については、東北よりもはるかにスピード感があったと思う。当時は村山首相が小里震災対策担当相に復旧のリーダーシップを委ねて、「超法規」で復旧を進めたことと国全体の結束が大きかったと思う。

クマ対策だが、その認識は正直なかった。市としても共有し、発信していきたいと思う。

参加者

山林の荒廃について。高齢化や担い手不足で山に入る人が減り、境界も分からない土地が増えている。倒木処理も所有者不明で対応できないケースがある。地籍調査を進めないと大きな問題になると思う。

市長

地籍調査も含め、今後取り組まなければならないことが山積していると認識している。